

**さぬき市民病院改革プランの取組状況  
(平成 21 年度決算)**

**さぬき市病院事業**

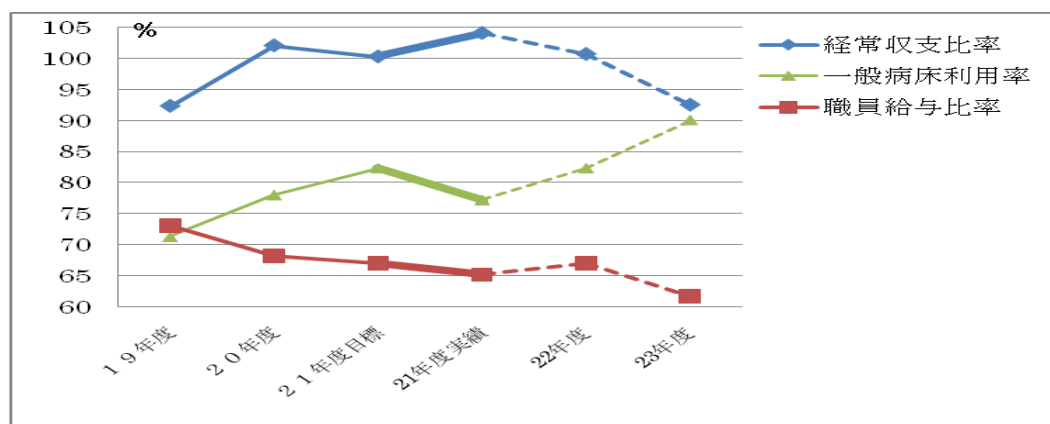
# 1 数値目標に対する実績数値

## (1) 財務に係る数値目標

(単位：%)

項目 \ 年度	19年度	20年度	21年度			22年度	23年度
	実績	実績	目標	実績	比較	目標	目標
経常収支比率	92.3	102.1	100.3	104.1	3.8	100.7	92.5
職員給与費比率	73.1	68.2	67.0	65.2	▲1.8	67.0	61.7
一般病床利用率	71.3 (222床)	78.0 (195床)	82.3 (195床)	77.2 (195床)	▲5.1	82.3 (195床)	90.0 (195床)

- 経常収支比率とは、経常収益に対する経常費用の割合（経常収益÷経常費用）であり、計画では、100.3%の経常黒字を目標としていたが、実績では、104.1%と目標を3.8ポイント超えた経常黒字となり、目標を上回って達成した。これは、料金収入は目標に達しなかったものの、それ以上に給与費や経費などの支出が少なかったためである。
- 職員給与比率とは、医業収益に占める給与費の割合（給与費÷医業収益）であり、計画より医業収益が少なかったものの、正規職員数の減少や期末・勤勉手当の引下げなどにより給与費が抑制されたため、実績では、目標の67.0%から1.8ポイント低くなり、目標を達成した。
- 一般病床利用率については、入院患者数が目標より3,610人減ったことにより、実績では、目標より5.1ポイント低くなり、目標を達成できなかった。

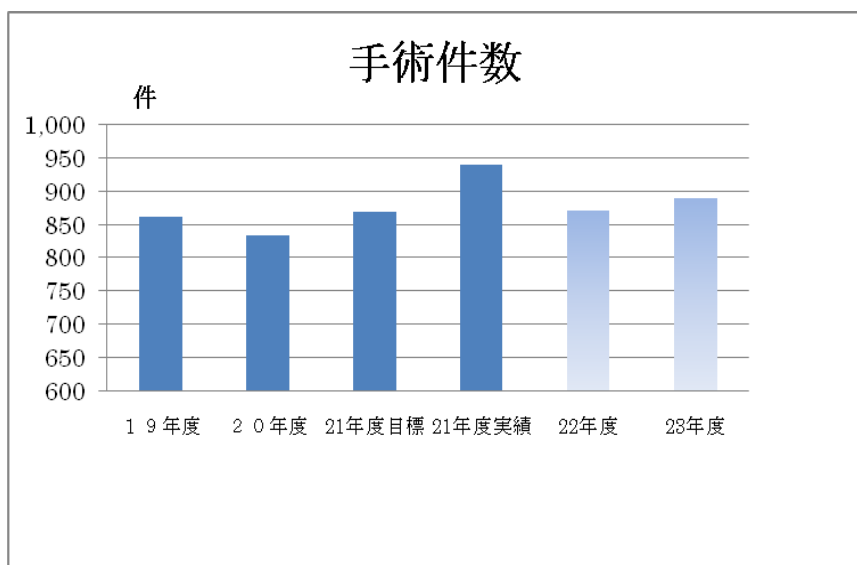
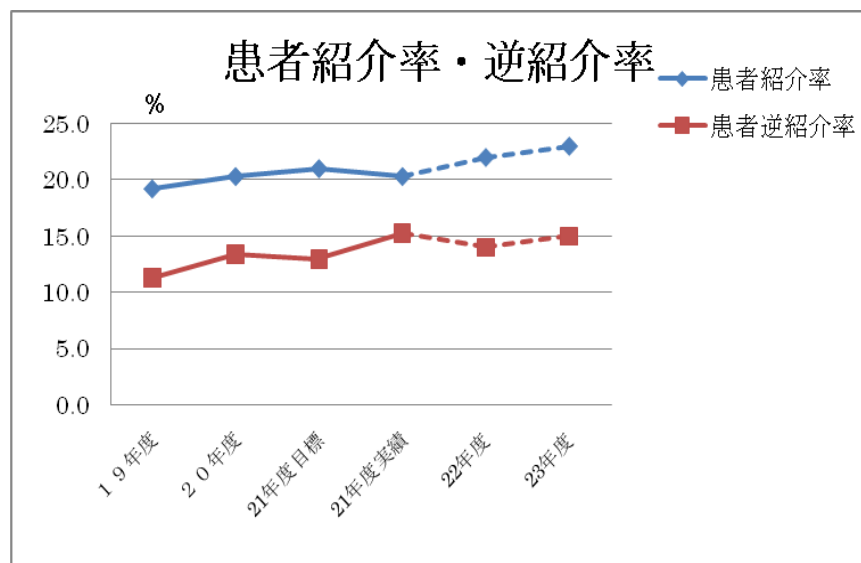
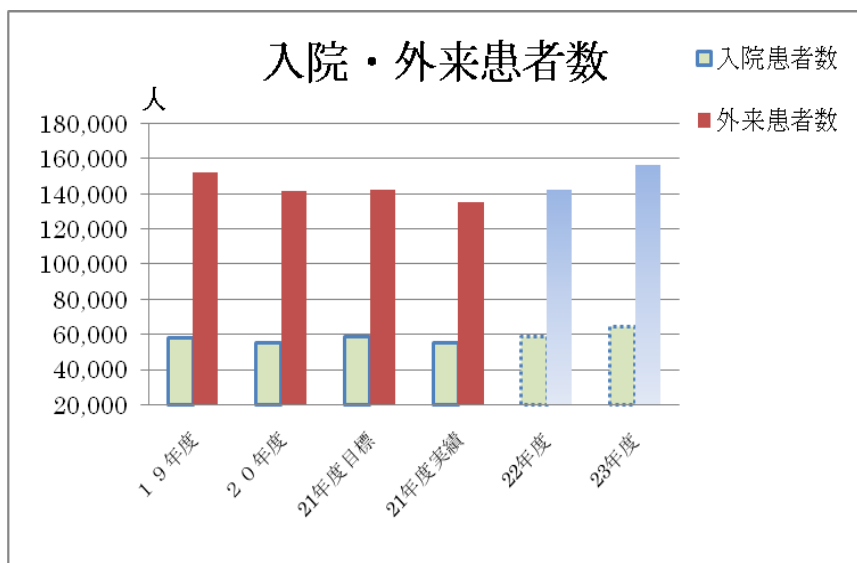


## (2) 公立病院としての医療機能に係る数値目標

(単位：人、%、件)

項目	年度		21年度			22年度	23年度
	19年度	20年度	目標	実績	比較	目標	目標
年間入院患者数 (一般病床)	58,355	55,515	58,580	54,970	▲3,610	58,580	64,060
年間外来患者数	152,263	141,443	142,540	135,574	▲6,966	142,540	156,250
患者紹介率	19.2	20.3	21.0	20.3	▲0.7	22.0	23.0
患者逆紹介率	11.3	13.4	13.0	15.3	2.3	14.0	15.0
手術件数	862	834	870	939	69	870	870
臨床研修医受入人数	3	3	3	3	0	3	3

- 年間入院患者数については、実績が目標より 3,610 人（1日当たり 9.9 人）少なく、目標を達成できなかった。平成 20 年度との比較でも、△545 人（△1.0%）と減少しているが、これは、内科及び泌尿器科では増加したものの、外科及び脳神経外科で減少したことが影響している。
- 年間外来患者数についても、実績が目標より 6,966 人（1日当たり 28.8 人）少なく、目標を達成できなかった。平成 20 年度との比較でも、△5,869 人（△4.2%）となっており、小児科では増加したものの、精神科及び耳鼻いんこう科で減少した影響が大きい。
- 患者紹介率については、目標に届かず 20.3%となり、平成 20 年度の実績と同じとなった。
- 患者逆紹介率については、15.3%となり、目標を 2.3 ポイント上回って達成した。平成 20 年度の実績との比較でも、1.9 ポイント上昇し、平成 22 年度及び平成 23 年度の目標をも上回っている。
- 手術件数については、目標を 69 件上回り、107.9%の達成率となった。平成 20 年度と比べても、105 件増となったが、外科、整形外科、泌尿器科、眼科及び耳鼻いんこう科が増えており、特に泌尿器科の増加が顕著であった。
- 臨床研修医の受入れについては、目標どおり年間 3 人を受け入れた。



## (3) 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円）

区分		年度		21年度			22年度		23年度
		19年度	20年度	計画	決算	比較	計画	予算	計画
収 入	1 医業収益	3,439	3,045	3,321	3,182	▲139	3,327	3,353	3,786
	(1) 料金収入	3,237	2,845	3,078	2,939	▲139	3,080	3,093	3,496
	(2) その他	202	200	243	243	0	247	260	290
	2 医業外収益	394	445	277	361	84	277	294	279
	(1) 他会計負担 金・補助金	302	359	229	270	41	229	245	229
	(2) 国(県)補助金	1	27	1	24	23	1	1	1
	(3) その他	91	59	47	67	20	47	48	50
	経常収益	3,833	3,490	3,598	3,543	▲55	3,604	3,647	4,065
支 出	1 医業費用	4,015	3,314	3,520	3,316	▲204	3,516	3,564	4,247
	(1) 給与費	2,513	2,076	2,225	2,076	▲149	2,230	2,267	2,335
	(2) 材料費	677	615	657	640	▲17	658	660	814
	(3) 経費	654	487	533	498	▲35	533	530	548
	(4) 減価償却費	159	127	87	87	0	77	83	530
	(5) その他	12	9	18	15	▲3	18	24	20
	2 医業外費用	139	104	67	86	19	62	76	146
	(1) 支払利息	31	19	40	5	▲35	34	45	118
	(2) その他	108	85	27	81	54	28	31	28
	経常費用	4,154	3,418	3,587	3,402	▲185	3,578	3,640	4,393
経常損益	▲321	72	11	141	130	26	7	▲328	

区分		年度		21年度			22年度		23年度
		19年度	20年度	計画	決算	比較	計画	予算	計画
特別損益	1 特別利益	61	9	0	0	0	0	0	0
	2 特別損失	62	11	130	125	▲5	870	0	0
	特別損益	▲1	▲2	▲130	▲125	▲5	▲870	0	0
純損益		▲322	70	▲119	16	135	▲844	7	▲328
累積欠損金		▲1,271	▲1,201	▲1,488	▲1,184	304	▲2,332	▲1,177	▲2,660
不良債務	流動資産	885	802	540	900	360	535	1,139	430
	流動負債	363	243	240	232	▲8	240	238	260
	差引) 不良債務	▲522	▲559	▲300	▲668	▲368	▲295	▲901	▲170

- 平成 21 年度病院事業会計の収益的収支については、計画では、精神棟解体による除却費が 130 百万円程度発生することから、119 百万円の純損失を見込んでいたが、反対に 16 百万円の純利益を生じた。
- 経常収益については、入院・外来患者数の減少により料金収入が計画より 139 百万円減収となったものの、地方交付税の増額に伴い一般会計負担金が増額となったほか、産科医療機関確保事業に対する県補助金の交付、治験受託費の増加等により、経常収益全体では、計画に対し 55 百万円の減収にとどまった。
- 経常費用については、正規職員数の減少や期末・勤勉手当の引下げなどにより給与費が大幅に減額となったほか、材料費及び経費の減少により医業費用が計画額を 204 百万円下回ったこと、高利率の企業債の借換えにより支払利息が 35 百万円少なくなったこと等が影響して、経常費用全体では、計画に対し 185 百万円の削減となった。
- 平成 20 年度決算との比較では、料金収入の増収により医業収益が 137 百万円増加したが、精神病院に対する一般会計負担金がなくなったため医業外収益が 84 百万円減少し、経常収益全体では、53 百万円の増収となった。
- 流動資産については、建設改良費の支払等により現金預金の減少を見込んでいたが、新病院建設工事の遅延により、計画より 360 百万円、平成 20 年度より 98 百万円増加しており、不良債務は、発生していない。

## (4) 収支計画（資本的収支）

（単位：百万円）

区分		年度		21年度			22年度		23年度
		19年度	20年度	計画	決算	比較	計画	予算 (支出は、前年度からの繰越分を含む。)	計画
収入	企業債	119	281	1,537	256	▲1,281	3,021	1,971	20
	他会計出資金	84	308	579	138	▲441	1,080	721	73
	国（県）補助金	0	2	3	3	0	172	1,090	0
	収入計	203	591	2,119	397	▲1,722	4,273	3,782	93
支出	建設改良費	56	354	2,059	371	▲1,688	4,540	5,354	20
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0
	企業債償還金	292	435	145	146	1	113	124	45
	支出計	348	789	2,204	517	▲1,687	4,653	5,479	65
差引不足額		145	198	85	120	35	380	1,697	▲28
補てん財源	損益勘定留保資金	145	198	85	120	35	380	1,697	0
補てん財源不足額		0	0	0	0	0	0	0	0

○ 計画においては、平成 21 年度に新病院建設の本体工事の着工を予定していたが、平成 22 年度に繰越しとなり、平成 21 年度の建設改良事業については、平成 20 年度から繰り越した実施設計の完成、建設用地の取得、精神棟の解体工事、建設地の造成工事等にとどまったため、収入のうち企業債及び他会計出資金、支出のうち建設改良費については、ともに計画の金額を下回った。

○ 平成 21 年度予算のうち建設改良費 1,912 百万円は、平成 22 年度に繰り越しており、これに対する企業債、他会計出資金及び補助金についても、予算には計上していないが、平成 22 年度に収入する予定である。

## 2 統計（地区別患者数）

### ①—1 入院患者数（一般病床＋精神病床）

年度 地区	18年度 (人)	割合 (%)	19年度 (人)	割合 (%)	20年度 (人)	割合 (%)	21年度 (人)	割合 (%)
津田地区	6,405	5.8	5,631	6.7	5,122	9.2	5,721	10.4
大川地区	10,969	10.0	10,007	11.8	7,258	13.1	8,224	15.0
志度地区	13,314	12.1	11,146	13.2	7,876	14.2	8,683	15.8
寒川地区	12,611	11.5	8,816	10.4	7,107	12.8	6,939	12.6
長尾地区	16,064	14.6	14,301	16.9	11,613	20.9	10,804	19.7
さぬき市全体	59,363	54.1	49,901	59.1	38,976	70.2	40,371	73.4
さぬき市以外	50,413	45.9	34,592	40.9	16,539	29.8	14,599	26.6
合計	109,776	100.0	84,493	100.0	55,515	100.0	54,970	100.0

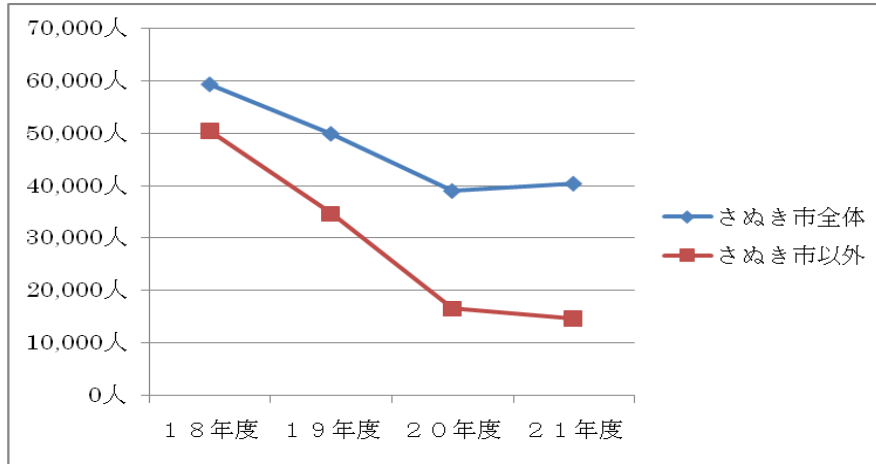
### ①—2 入院患者数（一般病床）

年度 地区	18年度 (人)	割合 (%)	19年度 (人)	割合 (%)	20年度 (人)	割合 (%)	21年度 (人)	割合 (%)
津田地区	5,461	8.5	5,111	8.8	5,122	9.2	5,721	10.4
大川地区	9,587	14.9	8,889	15.2	7,258	13.1	8,224	15.0
志度地区	8,666	13.5	7,831	13.4	7,876	14.2	8,683	15.8
寒川地区	9,747	15.2	7,130	12.2	7,107	12.8	6,939	12.6
長尾地区	12,346	19.2	12,263	21.0	11,613	20.9	10,804	19.7
さぬき市全体	45,807	71.2	41,224	70.6	38,976	70.2	40,371	73.4
さぬき市以外	18,517	28.8	17,131	29.4	16,539	29.8	14,599	26.6
合計	64,324	100.0	58,355	100.0	55,515	100.0	54,970	100.0

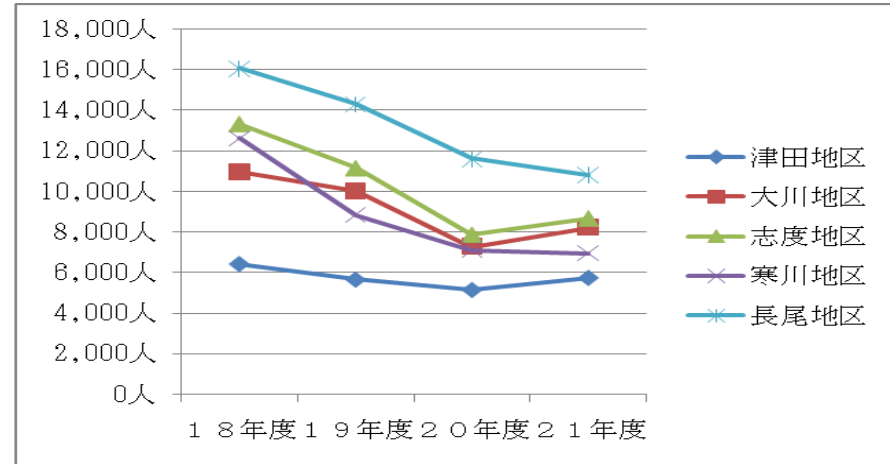
※ ①—1、①—2ともに、表示単位未満四捨五入の関係で合計が一致しない箇所がある。



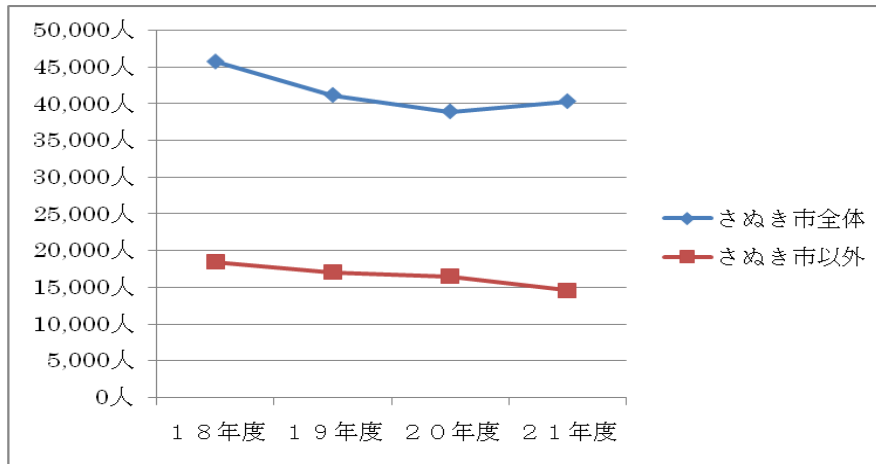
さぬき市内外入院患者数（一般病床+精神病床）



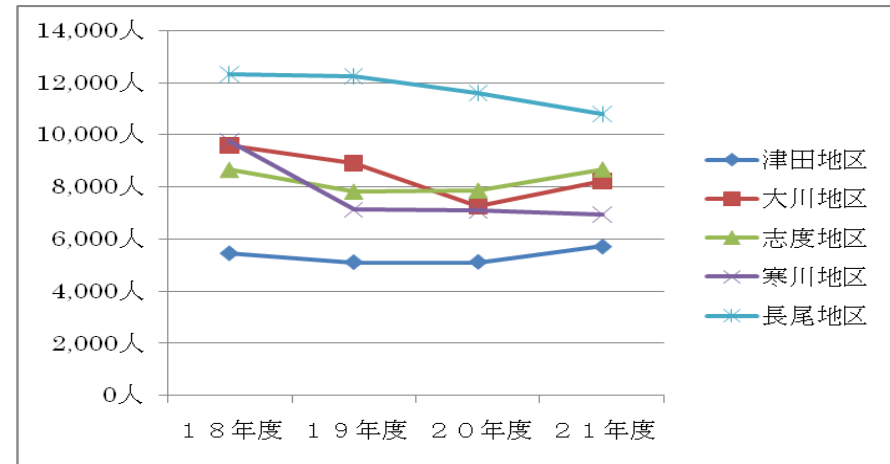
さぬき市内地区別入院患者数（一般病床+精神病床）



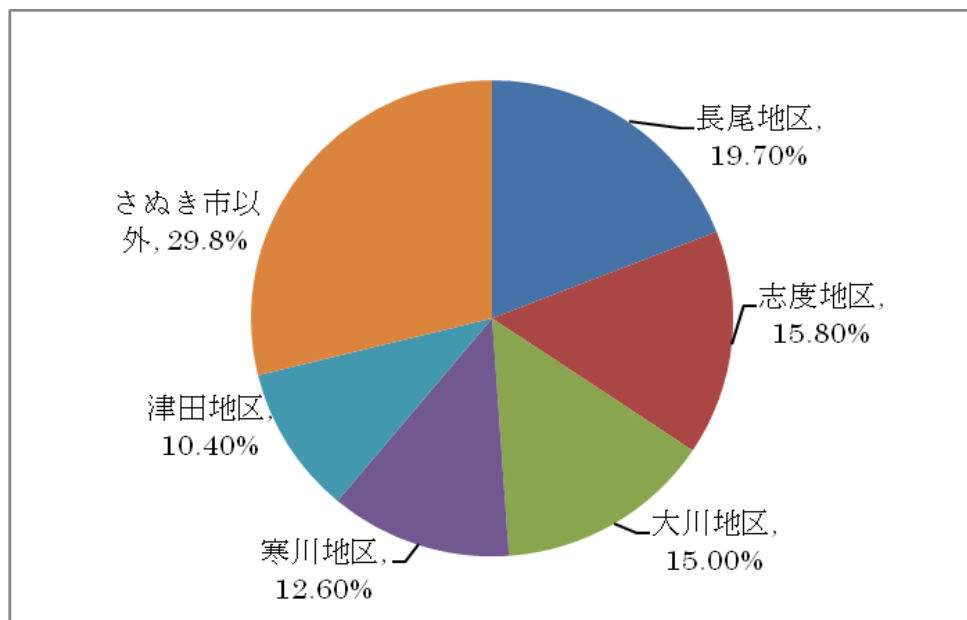
さぬき市内外入院患者数（一般病床）



さぬき市内地区別入院患者数（一般病床）



平成21年度地区別入院患者数割合（一般病床）



地区別の入院患者数は、市内が73.4%（3.2ポイント増）、市外が26.6%（3.2ポイント減）となり、市内の比率が増えている。市内の地区別では、平成21年度については、津田地区、大川地区及び志度地区が、人数、割合ともに増えており、長尾地区は、人数、割合ともに減っている。平成18年度からの一般病床の年度別の推移を見てみると、

【津田地区】 患者数は、過去4年間で最も多く、割合も、年々上昇している。

【大川地区】 患者数は、平成18年度から年々減少し、平成20年度は割合も減っていたが、平成21年度は、人数が1,000人近く増え、割合も15%に回復した。

【志度地区】 患者数は、平成18年度と比べ、平成19年度及び平成20年度は大きく減少していたが、平成21年度は、平成18年度と同程度に増えており、割合は、年々上昇している。

【寒川地区】 平成19年度に2,600人以上（26.8%）減ったが、その後の3年間は、患者数は、わずかに減少傾向にあるものの、割合は、ほぼ同程度で推移している。

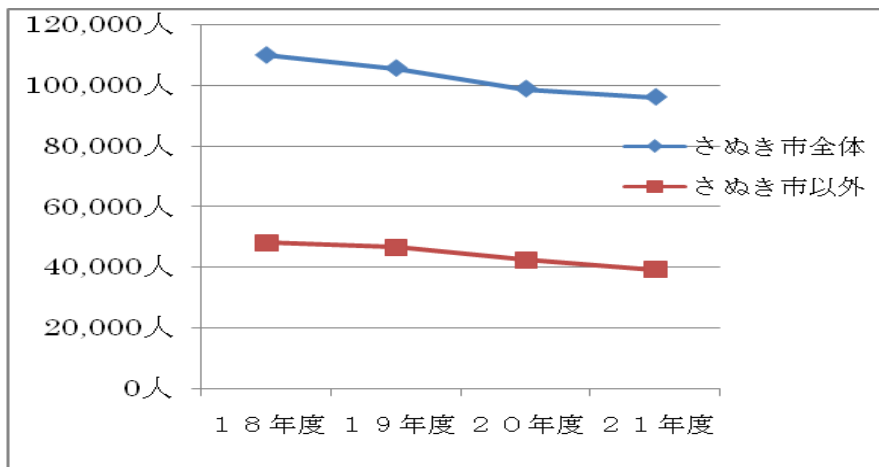
【長尾地区】 患者数は、年々減少を続け、平成18年度から1,500人余り（12.5%）減少している。

② 外来患者数（全科）

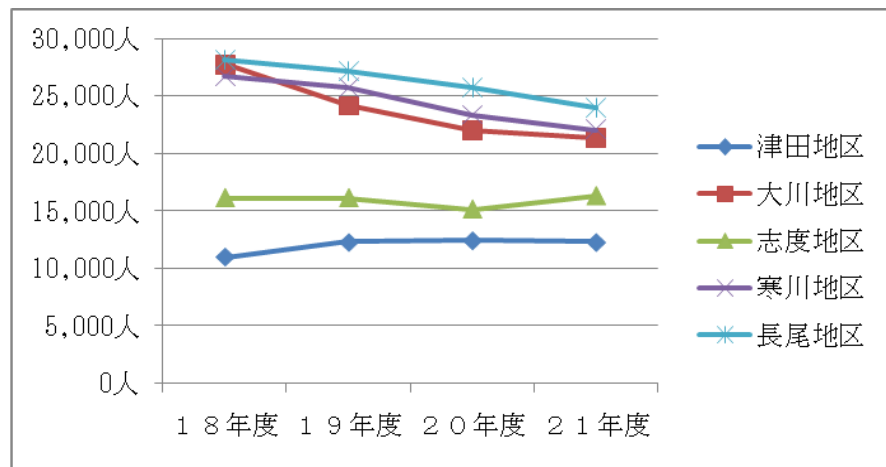
年度 地区	18年度 (人)	割合 (%)	19年度 (人)	割合 (%)	20年度 (人)	割合 (%)	21年度 (人)	割合 (%)
津田地区	10,995	7.0	12,300	8.1	12,450	8.8	12,302	9.1
大川地区	27,813	17.6	24,222	15.9	22,091	15.6	21,400	15.8
志度地区	16,178	10.2	16,176	10.6	15,177	10.7	16,350	12.1
寒川地区	26,764	16.9	25,757	16.9	23,361	16.5	22,077	16.3
長尾地区	28,227	17.9	27,208	17.9	25,793	18.2	24,020	17.7
さぬき市全体	109,977	69.5	105,663	69.4	98,872	69.9	96,149	70.9
さぬき市以外	48,173	30.5	46,600	30.6	42,571	30.1	39,425	29.1
合計	158,150	100.0	152,263	100.0	141,443	100.0	135,574	100.0

※ 表示単位未満四捨五入の関係で合計が一致しない箇所がある。

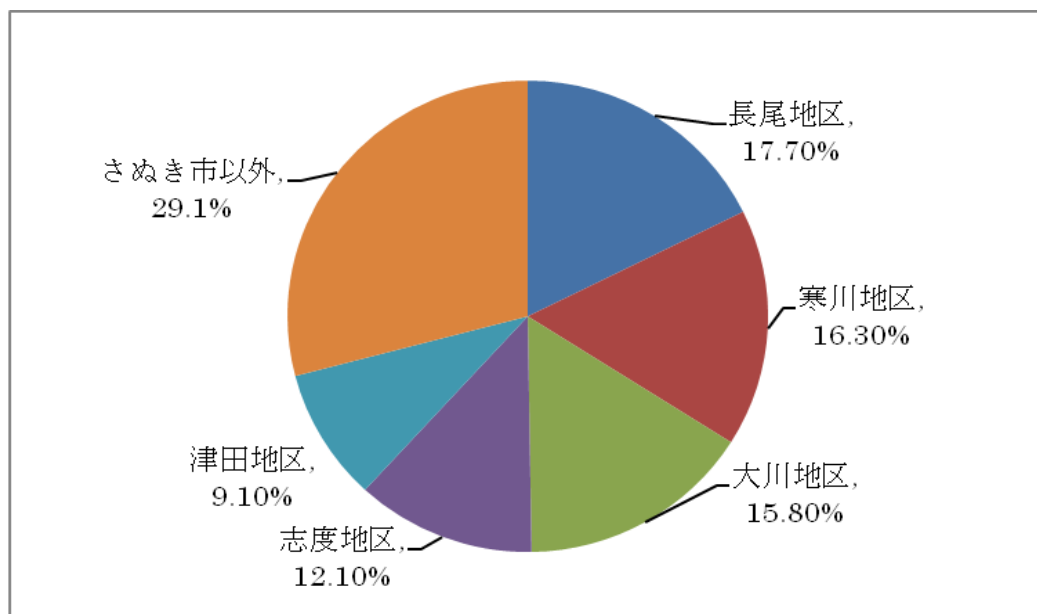
さぬき市内外外来患者数



さぬき市内地区別外来患者数



## 平成 21 年度地区別外来患者数割合



地区別の外来患者数は、市内、市外ともに減少傾向にあるが、その割合は、市内が約 7 割、市外が約 3 割と、過去 4 年間は、ほぼ一定している。

市内の地区別では、平成 21 年度については、志度地区は、人数、割合ともに増えているが、その他の地区では、割合は、あまり変化がないものの、人数は、減少傾向にある。平成 18 年度からの年度別の推移をみると、

【津田地区】 患者数は、平成 19 年度に増え、以後は、ほぼ一定しており、割合は、わずかに増加傾向にある。

【大川地区】 患者数は、毎年の減少幅が大きく、平成 21 年度は、平成 18 年度から 6,400 人余り減少しているが、割合は、ほぼ一定している。

【志度地区】 患者数は、平成 20 年度に減少したが、平成 21 年度には、平成 18 年度及び平成 19 年度と同程度に回復した。

【寒川地区】 患者数は、毎年少しずつ減少しているが、割合は、ほぼ同程度で推移している。

【長尾地区】 市内の各地区の中では、患者数、割合ともに一番多いが、患者数は、減少傾向にあり、割合は、ほぼ同程度で推移している。

### 3 各指標の今年度7月までの状況

項目	4月	5月	6月	7月	合計・平均
入院患者数 (人)	4,587 (4,535)	4,492 (4,893)	4,439 (4,836)	4,257 (4,900)	17,775 (19,164)
外来患者数 (人)	11,036 (11,416)	10,074 (10,835)	10,885 (11,611)	11,000 (12,076)	42,995 (45,938)
病床利用率 (%)	78.4 (77.5)	74.3 (80.9)	75.9 (82.7)	70.4 (81.1)	74.7 (80.6)
患者紹介率 (%)	28.3 (23.8)	22.6 (20.8)	25.0 (24.6)	29.0 (23.8)	26.2 (23.1)
患者逆紹介率 (%)	18.6 (20.2)	15.8 (15.2)	15.3 (18.2)	14.2 (16.5)	16.0 (17.3)
手術件数 (件)	68 (87)	74 (71)	91 (65)	81 (86)	314 (309)

※ ( ) 内の数字は、前年度実績

### 4 今年度の取組状況

(1) 地方公営企業法の全部適用への移行（4月1日）

- ① 病院事業管理者の任命
- ② 企業管理規程等の発令
- ③ 総務大臣への地方公営企業法適用状況異動報告

(2) 組織変更（4月1日）

- ① 副院長＝医療部門全体を総括
- ② 経営管理局長＝経営管理に関する事項を総括
- ③ 地域医療部の健康管理室⇒健康管理センターに名称変更
- ④ 地域医療部に地域医療センターを新設し、地域医療連携室と訪問3ステーションを配置
  - ・ 訪問診療室⇒訪問診療ステーションに名称変更
  - ・ 訪問リハビリテーション室⇒訪問リハビリステーションに名称変更
  - ・ 大川老人訪問看護ステーション⇒（さぬき市民病院）訪問看護ステーションに名称変更
- ⑤ 危機管理室⇒危機管理センター、治験管理室⇒治験管理センターに名称変更
- ⑥ 事務部の総務課⇒総務企画課、医事課⇒患者サービス課に名称変更し、新病院建設室とともに経営管理局に配置

(3) 新病院本体工事の入札・着工

入札日	工事内容	施工業者	契約金額
4月14日	建築工事	西松・合田建設共同企業体	2,268,000,000円
	機械設備工事	扶桑・三喜工事特定建設工事共同企業体	1,020,705,000円
	電気設備工事	栗原・三信特定建設工事共同企業体	543,900,000円
4月28日	昇降機設備工事	フジテック株式会社大阪支社四国支店	49,329,000円

5 さぬき市民病院改革プランの点検・評価の公表（予定）

月日	事項
8月27日	さぬき市病院事業運営審議会における改革プランの点検・評価
9月10日	さぬき市民病院経営会議に報告
10月1日	さぬき市民病院ホームページに掲載